

外

ガイ・(ゲ)  
そと・ほか・  
はずす・  
はずれる

外  
外  
外

夕ゆうとトぼくとを組くみ合あわせた形かたち。夕ゆうは肉にくの形かたちで、トぼくは占うらないに使つかう甲骨こうこつのひび割われの形かたち。亀かめの肉にくを外はずして、甲羅こうら(腹はらの方ほうの部分ぶぶん)を焼やき、そのひび割われた様よう子すを見みて占うらなった。

外がいは、占うらないに使つかう言こと葉ばであつたが、「そと」の意い味みになり、のちに「そとがわ、ほか、よそ、はずす」などの意い味みに